

# 腰と首の狭窄症が劇的に手術を免れた 軽快し驚いた!

## すべり症も改善! プラセンタの最新症例報告集

### 胎盤エキス「プラセンタ」を補う 注射療法で腰と首の脊柱管狭窄 症が続々改善し専門医も注目

清水伸一先生が診療されている清水整形外科クリニックは、〒甲府市清和区元町二二四一八番〇四八八八一六七三八です。  
清水伸一  
清水整形外科  
クリニック院長

**手術をすすめられ、プラセンタ療法に頼った**  
仕事で重い物を持ち上げたり、長い時間立ち仕事をしたりすることが多かった今田健一さん(仮名・六十三歳)は、三十歳のころから実に三〇年以上にわたって腰痛に悩まされてきました。



プラセンタ療法は首の狭窄症にも有効

痛みをこまかしていましたが、最近になって、両足に突っばるような痛みと強いしびれを感じるようになってきました。さすがに症状をこまかすのも限界で、二〇一〇年の暮れに近所の整形外科を受診すると、腰部脊柱管狭窄症および腰椎すべり症と診断されたそうです。痛みやしびれがひどく、仕事を休むことになった今田さんは、整形外科での神経ブロック注射による治療のほか、針灸院で針治療も受けました。しか

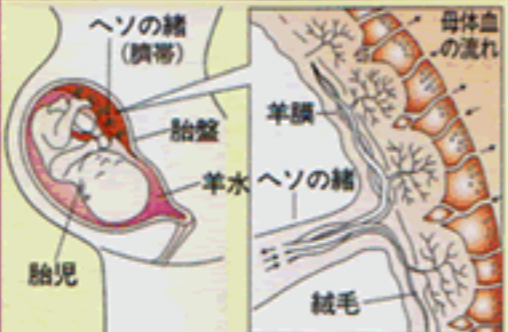
し、症状は悪化するばかりで、しだいに三〇分も歩けない状態になり、医師からは手術をすすめられるようになりました。手術を受けるのはどうしてもいやだと考えていたとき、今田さんが知ったのが、「プラセンタ療法」でした。



清水伸一先生

**整形外科医も続々効果を認める「プラセンタ」**  
脊柱管狭窄症や腰椎すべり症は、特に治療が難しい腰痛として知られており、整形外科医も頭を悩ませる病気で、そんな中、治療の強力な味方になると胎盤エキス「プラセンタ」を用いたプラセンタ療法が評判となっており、多くの整形外科医もその効果を認めています。

### プラセンタとは



プラセンタとは、哺乳動物の胎盤、または、そこから抽出されるエキスのこと。胎盤は、胎児と母親を結んで胎児の生命を維持し成長を促す臓器。プラセンタには20もの薬理作用があり、難治型の腰痛にも著効を発揮する。

事を休むほどひどい足の痛みとしびれが、二カ月後には治療前の七割ほどに軽減し、三〇分を超えて歩けるようにもなったそうです。現在、今田さんの腰痛は当初の半分に改善し、手術の必要もすっかりなくなりました。以前に比べてかなりの距離も歩けるようになり、復帰した仕事にも元気に取り組んでいると笑顔で話してくれました。

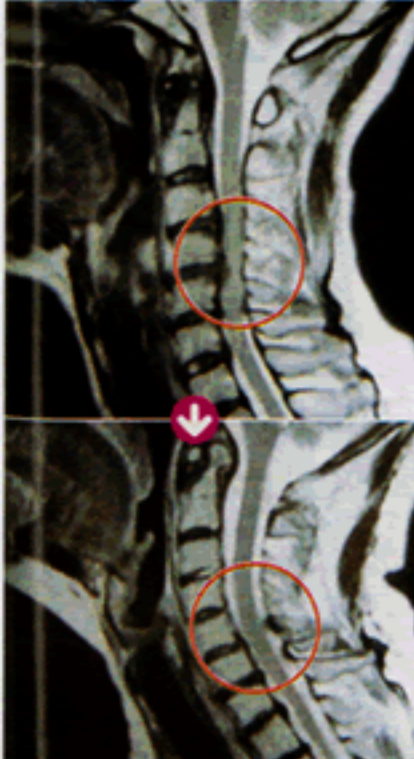
### 首の脊柱管狭窄症も一カ月で大幅改善

プラセンタ療法は、首に起こる脊柱管狭窄症(頸部脊柱管狭窄症)にも有効です。病院で看護助手をしていた内藤真佐子さん(仮名・五十八歳)は、二年前から両手の指が思うように動かなくなり、ボタンを留めたり箸で食事をしたりするのが難しくなりました。整形外科でMRI(磁気共鳴断層撮影)検査などを受けた結果、頸部脊柱管狭窄症と診断されました。通院でのリハビリ(機能回復

訓練)や鎮痛薬の服用、さらには二カ月にわたる入院で点滴や牽引療法も受けましたが、両手両足のしびれや肩こり、握力の低下、さらには歩行障害などにも悩まされ、最終的には手術をすすめられました。手術で必ず回復する保証はなく、頸部の手術は怖いと考えた内藤さんは手術を拒否。そんな折、プラセンタ療法を知って、一練の望みを託して当院を訪れたのは、昨年一月のことでした。

内藤さんの場合、一回四アンブルの注射を週二回行いました。これを一カ月続けたところ、両手両足の痛みやしびれが軽減し、肩こりもなくなっていました。治療二カ月後には、足が突っばって歩きにくかったのも解消し、歩き方も正常に戻っていました。それに伴って、ボタンを留めたり箸を使ったり字を書いたりするのにも不自由を感じなくなりました。現在の内藤さんは、手足のしびれは多少残っているものの、自分一人で料理ができるまでに回復しています。ちなみに、当院では、それぞれの患者さんに応じて、プラセンタの粒食品も活用しています。粒食品だけで症状がよくなったり、注射では効果が得にくい人でも、粒食品の併用で顕著な改善効果が得られたりする例はいくつもあります。当院でプラセンタの粒食品をとつてもうささいは、体重一〇〇kgにつきプラセンタエキス二〇〇mg程度が一日の目安量となります。注射と併用する場合は、適宜、量を減らします。

プラセンタ療法による治療前の頸部(上)と治療後の頸部(下)のMRI画像。狭窄による神経への圧迫が軽減している。



プラセンタとは哺乳動物の胎盤を意味しますが、一般には人間やブタの胎盤から抽出したエキスを指します。このプラセンタを皮下や筋肉への注射で補う治療法がプラセンタ療法です。実際に、私も脊柱管狭窄症や腰椎すべり症に悩む患者さんに対してプラセンタ療法を行っていますが、驚くほど症状の改善する例が多く見られます。さて、冒頭で紹介した今田さんは、昨年の四月に、プラセンタ療法を希望して当院を訪れました。私は早速、今田さんに一回二アンブル(二アンブルは二回のプラセンタの注射を、週二回行いました。すると、仕

通院でのリハビリ(機能回復